

御徒町驛

橋下設備

驛長事務室

小手荷物扱所

同保管所

出札室

旅客溜り場

驛員休憩所

驛員詰所

便所

乗降場設備

五〇〇・〇

二一四呎時

三〇

高
長
幅

四六・一

三二

二六

三七

二六

一六

九三坪

六三

一二

第八 電氣設備

驛長事務室

乗客待合室

水呑所

四五坪
九〇
二ヶ所

(イ) 架空電車線

東京上野間電氣工事概要

東京上野間架空電車線は今回開始の電車運轉の複線のみならず將來の増設線路をも電氣運轉の計畫にて全線に亘り强度大なる鐵塔を使用し平均柱間距離は百三十呎にして架線方式は「コムバウンドカテナリ」式なり電壓は直流一千二百「ヴォルト」にして使用電線の種類は次の如し

電車線 B S 四零番相當溝付硬引銅線

吊架線

B W G 六番七本撲鋼線

補助吊架線 B W G 拾壹番七本撚鋼線

饋電線は B S 拾番六拾壹本撚硬引銅線六條を架設し内四條を主線として上下線に二條宛を充て他の二條を副線とし上下の電車線に直接接續を爲せり歸線には B S 四零番相當百封度軌條用「レールボンド」を使用し「ダブルボンディング」を施せり

(ロ) 變電所

上野變電所の位置は電車運轉負荷の關係上御徒町上野間に選定するを必要とせしか同地域は市内届指の商業地域にして變電所用地として廣大なる土地を使用するは同地域の發展上面白からず且つ用地を得るに困難なりしかば高架線下に施設せり

本變電所は自働變電所にして機械の構造並電線の接續は複雜にして且つ變電所内には多數の橋脚林立し梁桁縦横に通し利用し得べき空間狭隘なるか爲設計及工事は困難なりしが全容量一萬二千「キロワット」中第一期工事として六千「キロワット」の設備を完成し交流一萬一千「ヴォルト」にて受電し直流一千二百「ヴォルト」にて電車線に饋電す而して將來輸送量の増加に應じ更に六千「キロワット」を増設し

得べく又隨時受電電壓は交流二萬二千「ヴォルト」に饋電電壓は直流一千五百「ヴォルト」に變更し得る設備なり

本變電所にて受電の交流電力を電車に供給すべき直流に變換する廻轉變流機三組は各二千「キロワット」にして朝夕の出盛時に電車運轉の増加に應じ任意の順序に自働的に運轉組數を増加して必要量の電力を饋電し電車運轉の減少する場合は廻轉變流機の運轉組數も亦自働的に減少す其の他電車、電車線等に於ける凡ての電氣的事故に對し直に自働的に對應作用を爲し不良部分のみを除外し恢復せば直に原態に復し又一の廻轉變流機に故障を發生したるときは直に他の機械を起動し夫れ等の動作の迅速にして確實なることは到底手働變電所の及ばざる處なり

斯く總ての動作を自働的に遂行するを以て本變電所には單に見張の爲めの少數從事員を要するのみなり

(ハ) 地中送電線路

上野變電所に至る地中送電線は現在使用電壓一萬一千「ヴォルト」なるも將來之れ

を二萬二千「ヴォルト」と爲して送電容量を倍加せんが爲二萬二千「ヴォルト」用三十萬「サーキュラーミル」三心入被鉛鎧裝電纜を使用し道路面下三四尺の深さに土管又は鐵筋混凝土製「トラフ」中に埋設し田端變電所より五四線永樂町變電所より四回線を施設せり

田端變電所を經由しては鐵道省赤羽發電所の電力或は東京電燈會社猪苗代系統の電力を受くることを得べく永樂町變電所を經由しては同社甲州系統或は信州系統の電力を受くることを得べくかくして受電の杜絶することを防止するに努めたり

第九 主要材料

本工事に使用せる主要材料は砂利、砂「セメント」石材、煉瓦、鐵桁及鐵筋材にして東京神田柳原河岸間に於ては「セメント」鐵桁及鐵筋材のみを支給し他は請負者に於て調達せしめ神田川以北上野驛間に於ては砂利、砂「セメント」及鐵桁を支給し他は請負者持とせり而して砂利、砂は生産價格と市價とに非常なる懸隔あるを見之を直

營採集となすときは本工事の如き大量使用の工事にては莫大の利益となるを以て大正九年四月東京府下南多摩郡多摩川に於て砂利採集場を有する東京砂利鐵道會社の經營せる線路(中央線國分寺驛より分岐し南方多摩川に至る約四哩二分)並に採掘權を譲り受け「スチームショベル」二臺「ブームドラッグライン」一臺を用意し河原には約六拾鎖の本線路を引込み切込砂利は「スチームショベル」を以て直接無蓋貨車に積込み下河原構内には一時間五立坪の篩分洗滌所を設け此に要する砂利の運送には二呎六吋の線路を布設し輕便機關車を用ふる等人力採集と相俟つて専ら本工事を初め東京附近改良工事用砂利、砂の採掘を營みつゝあり

今回開通の二線路に對する主要材料の產地又は製造所並に主なる支給材料を舉れば左の如し

種別	產地又は製造所	支給數量	摘要	要
煉瓦	本磨煉瓦 日本煉瓦製造會社			
化粧煉瓦	品川白煉瓦製造會社			